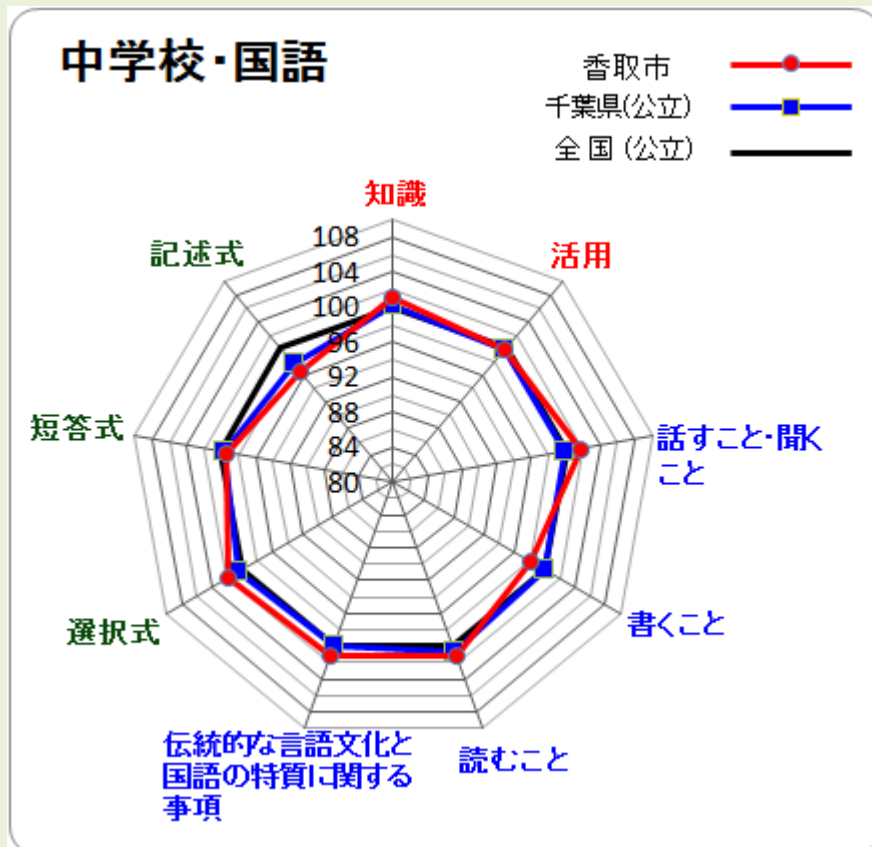


(3) 教科についての傾向と課題

※全国（公立）の平均正答率を100として、千葉県、香取市の平均正答率を相対的に表したものです。

中学校の傾向と課題



- 領域別では、話すこと・聞くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項は、全国平均よりやや高いです。
- 問題形式では、選択式は、全国平均よりやや高いです。
- 領域別では、書くことは、全国平均よりやや低いです。
- 問題形式別では、記述式は、全国平均よりやや低いです。

課題が見られた主な問題

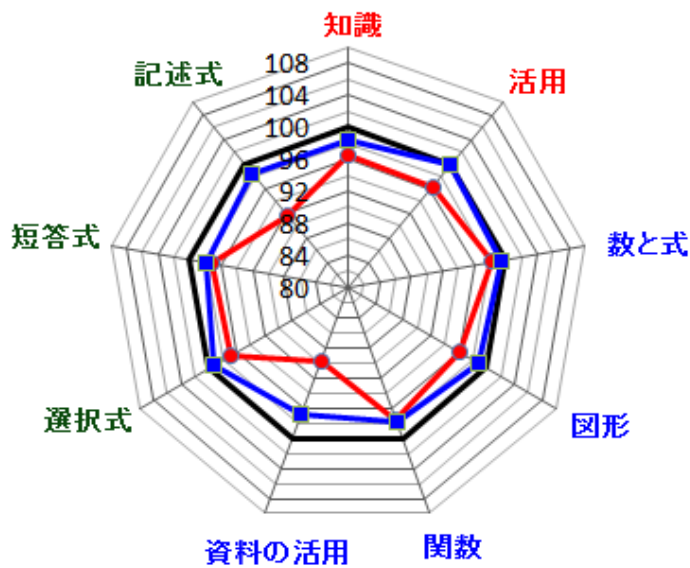
- 国語A 9-3 漢字を書く。(アマったお金を貯金する) 香取市 58.1% (全国-12.8)
- 国語B 3三 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く。 香取市 27.3% (全国-3.8)

力を入れたい学習

- 日常的な漢字の学習。(書く)
- 文章の展開について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。

中学校・数学

香取市 —●—
 千葉県(公立) —■—
 全国(公立) —



- 領域別では、資料の活用は、全国平均より著しく低く、数と式、図形、関数は、全国平均よりやや低いです。
- 問題形式別では、記述式は、全国平均より低く、選択式、短答式は、全国平均よりやや低いです。

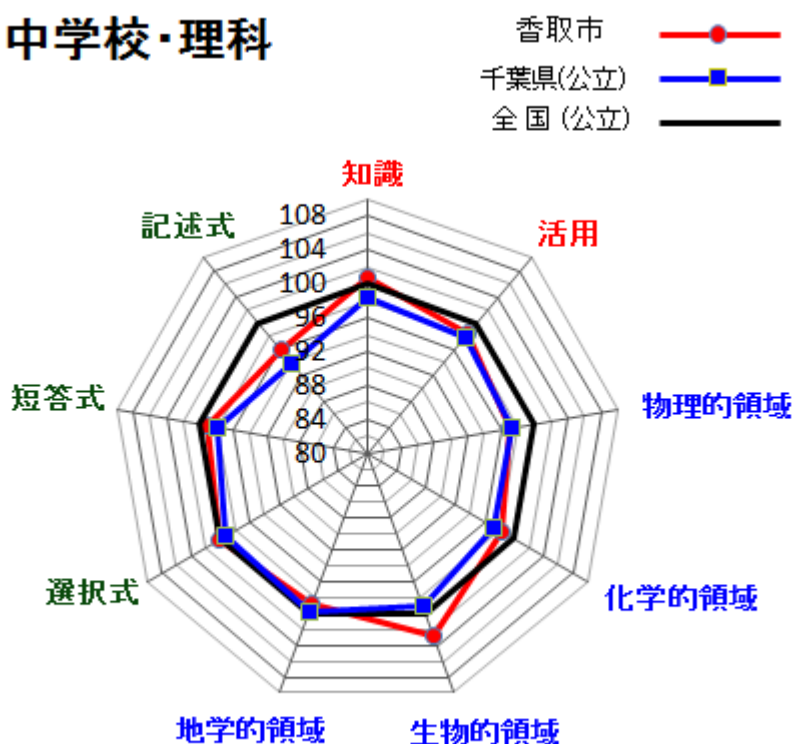
課題が見られた主な問題

- 数学A 3 (3) 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ。
香取市 33.2% (全国-11.7)
- 数学A 4 (1) 垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ。 香取市 53.2% (全国-5.9)
- 数学A 4 (2) $\triangle ABC$ を、矢印の方向に4 cm 平行移動した図形をかく。 香取市 58.4% (全国-6.1)
- 数学A 5 (4) 与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ。 香取市 50.6% (全国-5.8)
- 数学A 1 5 (2) さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ。 香取市 43.7% (全国-11.7)
- 数学B 3 (2) 四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する。 香取市 15.0% (全国-6.2)
- 数学B 4 (2) 正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても、 $AE = CF$ となることの証明を完成する。 香取市 42.8% (全国-6.8)

力を入れたい学習

- 着目する数量をみだし、方程式をつくることができるようにする。
- 見通しをもって作図したり、作図の方法を見直したりすることができるようにする。
- 平面上にかかれた図形を、きまりにしたがって移動し、移動前と移動後の2つの図形の関係を捉えることができるようにする。
- 柱体と錐体を関連付けて、錐体の体積の求め方を理解できるようにする。
- 多数回の試行を通して、確率の意味を、実感を伴って理解できるようにする。
- 問題解決の方法や手順を、数学的な表現を用いて的確に説明できるようにする。
- 問題の条件を変えて、発展的に考えることができるようにする。

中学校・理科



△ 知識は、全国平均とほぼ同程度です。

● 活用は、全国平均よりやや低いです。

○ 領域別では、生物的領域は、全国平均よりやや高いです。

● 領域別では、物理的領域、化学的領域、地学的領域は、全国平均よりやや低いです。

● 問題形式別では、短答式、記述式は、全国平均よりやや低いです。

課題が見られた主な問題

- 理科1 (1) 化学式 濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める。 香取市 38.6% (全国-6.4)
- 理科2 (3) 湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する。 香取市 8.2% (全国-6.3)
- 理科5 (2) 電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると、検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する。 香取市 51.7% (全国-5.1)

力を入れたい学習

- 特定の質量パーセント濃度の水溶液における溶質と水の質量をもとめることができるようにする。
- 考察などを検討して改善する際は、多面的、総合的に思考できるようにする。
- 理科で学習したことが関係する科学技術について、科学的な概念を使用して考えたり説明したりできるようにする。

※文中の、「同程度」は全国との差が±0.9ポイントの範囲内、「やや高い、やや低い」は全国との差が±1.0～4.9ポイントの範囲内、「高い、低い」は全国との差が±5.0～9.9ポイントの範囲内、「著しく高い、著しく低い」は全国との差が±10.0ポイント以上であることを表しています。